

事業名	長寿社会振興事業費	財務コード (事業)	706402
-----	-----------	---------------	--------

細事業名	長寿やまなし振興事業費補助金
------	----------------

担当部課室	福祉保健 部 長寿社会 課 企画在宅福祉 担当 (内線)	3113
-------	------------------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 H3 年度 ~ 終期 年度
実施主体	補助(山梨県社会福祉協議会)

事業の目的	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	高齢者全般	スポーツ、文化活動、世代間交流、地域活動等に参加し、健康づくり、生きがいづくりの推進が図られている。	安心して暮らせる地域福祉の推進

事業の内容 ※主に 23年度	■補助先:山梨県社会福祉協議会 ■事業内容: (1)健康づくり事業 ○いきいき山梨ねんりんピック開催事業 ※補助率:10/10 ・スポーツ交流大会、生きがい情報広場、三世代ふれあい広場、趣味の広場等 ・平成23年9月24日(土)、小瀬スポーツ公園他) ○全国健康福祉祭選手派遣事業 ※補助率:参加費10/10補助、その他1/2補助 ・予選会で優秀な成績を収めた選手、「シルバー作品展」「シルバー俳句大会」の優秀作品を「全国健康福祉祭(主催:厚生労働省、都道府県等)」へ派遣、出展する。 ・平成23年10月13日(土)~10月16日(火)、熊本県 (2)生きがいづくり事業(いきいき山梨ねんりんピックの一環として開催) ○シルバー作品展 ※補助率:10/10 ・高齢者の日頃の文化創作活動の成果発表の場として県内各地で作品展を行い、優秀作品を集めた「シルバー作品展」を開催する。 ・平成23年6月9日(木)~6月13日(月)、山交百貨店催事場(シルバー作品展) ○シルバー俳句大会 ・高齢者がはがきで投句した俳句の作品展を行う(シルバー作品展と同時開催)。 (3)地域活動支援事業(補助率:10/10) ○高齢者地域リーダー(ことぶきマスター)の活動促進、研修会、高齢者に関する各種情報の提供を行う。
	根拠法令等 都道府県明るい長寿社会づくり推進機構事業運営要綱(平成元年10月19日厚生省大臣官房老人保健福祉部長通知) 山梨県長寿やまなし振興事業費補助金交付要綱

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 山梨ねんりんピック スポーツ交流大会 参加高齢者(競技 者)数 ※各地域にお ける予選会の参加者は含 まない。	4,971人	5,000人	4,986人	5,000人	5,000人	目標設定の考え方 チャレンジ山梨行動計画に定めた 数値目標
	活動指標達成率 (実績値/目標値)	99.7 %				
成果指標 ○いきいき山梨ねん りんピック参加団体 数(競技種目運営団 体、イベントコーナ ー 出展団体等) ○シルバー作品展全 出展数(予選会含 む) ○ことぶきマスター活 動回数	106団体 1,986点 61回	104団体 1,939点 58回	97団体 2,131点 97回	104団体 1,939点 58回	104団体 1,939点 58回	目標設定の考え方 実績値の直近3年間平均
	成果指標達成率 (実績値/目標値)	%				
決算額、予算額 (千円)	22,733		24,620	22,528	25,287	成果指標によらない成果
うち一財額	5,241		8,437	22,528	25,287	・いきいき山梨ねんりんピックの一環として 実施しているスポーツ交流大会や作品展等 は高齢者の普段の練習や創作活動に結び ついており、また、本大会前には各地域で 予選会も行われるため、活動の広がりがある。 ・ねんりんピックは世代間交流のイベントで もあり、幅広い県民交流の機会になっている。
所要時間(直接分)	102 時間		102 時間	102 時間	102 時間	
所要時間(間接分)						
所要時間計	102 時間		102 時間	102 時間	102 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	206		206	206	206	

III これまでの事業の見直し・改善状況

H18年度から、全国健康福祉祭派遣選手の宿泊費補助について適切な補助率に見直す等の改善を実施し、経費節減を図った(H17年度:32,156千円→H18年度:22,897千円)。また、H19年度から、県が認定する「ことぶきマスター」の周知を強化し、地域や福祉施設のイベント等での活動機会の増加を図った(H18年度:18件→H19年度:57件→H23年度:97件)

IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
H23年度活動指標達成率		
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること
H23年度成果指標達成率		いきいき山梨ねんりんピックの参加団体は目標104団体に対して97団体、シルバー作品展全出展数(予選会含む)は目標1,939点に対して2,131点、ことぶきマスター活動回数は目標58回に対して97回であり、それぞれ意図した成果を上げている。 成果指標によらない成果としては、いきいき山梨ねんりんピックの一環として実施しているスポーツ交流大会や作品展等は高齢者の普段の練習や創作活動に結びついており、また、本大会前には各地域で予選会も行われるため、活動の広がりがある。 また、いきいき山梨ねんりんピックは世代間交流のイベントでもあり、幅広い県民交流の機会になっている。県が認定し、人材バンクに登録している「ことぶきマスター」については、自分の技能や知識を生かし、地域や福祉施設のイベント等で活動する回数が増えており、高齢者の社会参加促進に繋がっている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目
有	本県の高齢化率が年々上昇し、平成23年4月1日現在で24.2%と過去最高となっている中、高齢者がサービスの受け手にとどまるだけでなく、健康で生きがいを持って自らの生活の質を向上させること、仲間同士の交流や世代間の交流を深めること、自分の経験や知識を生かし積極的に地域活動を行うことの必要性が増しており、本事業の果たす役割もますます重要になっている。 ついでに、より多くの高齢者が本事業に参加するよう、健康づくり・生きがいづくりの楽しさや充実感等について、県ホームページや県社協、老人クラブ等の広報媒体を活用し、高齢者に対する情報発信を強化していく。 また、いきいき山梨ねんりんピックは、世代間交流のイベントでもあることから、高齢者以外の県民に対しても、情報発信を強化するとともに、イベントの内容の改善についても必要に応じて検討していく。	b

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目
有	事業の実施にあたっては、より多くの高齢者が本事業に参加するよう、健康づくり・生きがいづくりの楽しさや充実感等について、県ホームページや県社協、老人クラブ等の広報媒体を活用し、高齢者に対する情報発信を強化していく。 また、いきいき山梨ねんりんピックは、世代間交流のイベントでもあることから、高齢者以外の県民に対しても、情報発信を強化するとともに、必要に応じてイベントの内容を改善していく。	b

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	より多くの高齢者の参加が得られるよう、健康づくり・生きがいづくりの楽しさや充実感等について、県ホームページや県社協、老人クラブ等の広報媒体を活用し、高齢者に対する情報発信を強化していく。 また、いきいき山梨ねんりんピックを通じて世代間の交流を一層促進するため、高齢者以外の世代に対しても情報発信を強化していくとともに、世代間交流に資する内容を盛り込む。 更に、ことぶきマスターの一層の活動促進を図るため、ことぶきマスターの技能発表の場を拡充する。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。

自主点検シート(事業の内容及び所要時間)に関する附属資料【様式2】

所属名:長寿社会課

細事業名:長寿やまなし振興事業費

調査番号: 9

事業の内容を細分化した業務名	具体的な業務プロセス(手順)	業務の時期(フロー)	H23 所要 時間 (h)	H24 所要 時間 (h) A	H25 所要 時間 (h) B	縮減等 B-A	具体的な業務の見直しの内容	見直しに至った理由等 (または見直しなしの理由等)
1 補助金交付関係業務	交付決定	4月	8	8	8	0	なし	【今回見直しなし】 業務上必要なプロセスであり、最短の所要時間となっており、これ以上の短縮の余地がない。
	額の確定、精算	翌年4月	8	8	8	0		
						0		
						0		
						0		
(小計)			16	16	16	0		
2 山梨県社会福祉協議会との打ち合わせ	いきいき山梨ねんりんピック	6月	3	3	3	0	なし	【今回見直しなし】 業務上必要なプロセスであり、最短の所要時間となっており、これ以上の短縮の余地がない。
	全国健康福祉祭	7月	2	2	2	0		
	シルバー作品展	5月	2	2	2	0		
	シルバー俳句大会	5月	1	1	1	0		
	ことぶきマスター	5月	2	2	2	0		
						0		
						0		
(小計)			10	10	10	0		
3 イベント等の当日対応	いきいき山梨ねんりんピック	9月	49	49	49	0	なし	【今回見直しなし】 業務上必要なプロセスであり、最短の所要時間となっており、これ以上の短縮の余地がない。
	全国健康福祉祭(壮行式、帰県報告会)	9、11月	12	12	12	0		
	シルバー作品展	6月	6	6	6	0		
	シルバー俳句大会		6	6	6	0		
	ことぶきマスター(認定証交付)	2月	9	9	9	0		
						0		
						0		
(小計)			76	76	76	0		
所要時間(計)			102	102	102	0		

(留意事項)

- 1 事業を細分化した業務名は、事務事業を構成する業務ごとに細分化し、その業務名を記載すること。
- 2 具体的な業務プロセス(手順)は、できる限り多くのプロセスを記載すること。
- 3 業務の時期は、業務のフローがわかるように具体的な業務プロセスごとに記載すること。(毎月、四半期ごとの業務等は、その1サイクルの期間を記載すること。)
- 4 各年度の所要時間(計)は、事務事業自主点検シートのⅡ事業の目標、実施状況等の「所要時間計」と一致すること。
- 5 具体的な業務の見直しの内容は、わかりやすく簡潔に記載すること。(県民から見て分かりやすい表現とすること。)なお、見直しがない場合は、「なし」と記載すること。
- 6 見直しに至った理由または見直しなしの理由は、詳細に記載すること。(具体的な業務プロセスごと、または細分化した業務ごとに記載すること。)
- 7 適宜、業務内容に合わせ、行を加除して記載すること。(複数ページ可)